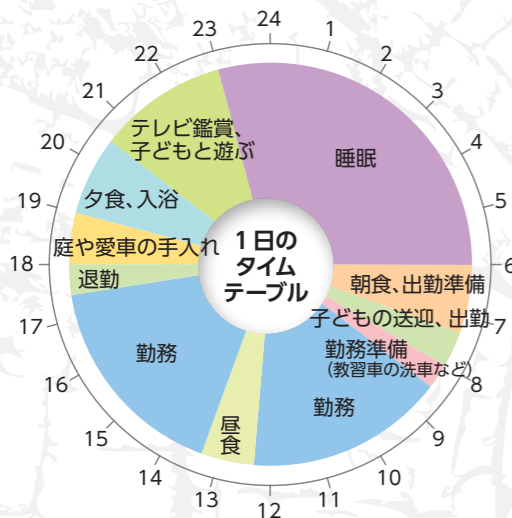


# 「安全運転」の学びの庭。



私自身、安全運転への意識が変わりました。

OFF

空港自動車学校 教習指導員  
 中小路 佑さん(32)  
 国分出身。福山高校農業土木科卒業。令和2年入社。特技は車のメンテナンス。妻と子ども2人の4人暮らし。溝辺町在住。

4年前に建てたマイホームで使うまきストーブ用に、休みの日にはまき割りを楽しんでいます。昔はよく釣りに行っていましたが、最近は何もありません。そんな私がおいしい魚を食べたいときによく行くのが、友人のお店である国分の伊地知鮮魚です。

店頭には並ぶ魚は、その日の朝に店主が自ら鹿児島市の市場まで仕入れに行っているため、鮮度や味は最高のものばかりです。旬の魚が並び、時期によって顔ぶれが変わるのも魅力。今はサバがおいしい時期で、店で調理した締めさばもお勧めです。

どういった料理で食べたいなどの希望を伝えれば、刺身や三枚おろしなどしてくれるので、魚をさばくのが苦手な人でも安心。連絡すれば午後6時までは受け取りができますよ。



おすすめ



お店のInstagramはこちらから

**伊地知鮮魚**  
 ●場所=国分敷根2837  
 ●駐車場=10台  
 ●営業時間=午前10時~午後2時、午後3時~5時  
 ●店休日=日曜、祝日(水曜は不定休)  
 ☎=伊地知鮮魚 ☎(45)0202



**運** 転免許の取得を目指し、交通法規や運転技術などを学ぶ自動車学校。市内には三つの自動車学校があります。その中で最も新しく、平成12年にできたのが隼人町にある空港自動車学校です。年間900人ほどが安全運転のための技術や知識、マナーを身に付けるために入校しています。

同校では第一種免許を全て受講できるほか、市内で唯一、二輪専用の教習場を設けており、二輪免許の取得希望者に人気があります。無料で利用できるスクールバスは原則自宅までの送迎、交通手段がない人でも安心して通えるのも魅力の一つです。小中高校に

出向き、自転車の乗り方教室を開催するなど、地域の交通安全活動にも取り組んでいます。

同校で教習指導員として働くのが、入社1年目の中小路佑さん(32)です。車が好きな中小路さんは、自動車整備の専門学校を卒業後、自動車整備士として11年ほど働きました。好きなこととはいえ多忙な毎日を送っていた中小路さんは「今の生活でいいのだろうか」と不安を感じていましたが「妻が空港自動車学校にお世話になった時の指導員が元自動車整備士で、その人の話を聞き教習指導員という仕事に興味を持ったことが入社のかきかけです」と振り返り、「今は趣味のまき割りや子どもと遊ぶ時間が増えメリハリのあつる生活で、教習指導員になって良かった」と続けます。

指導員として人に教える難しさを感じる中で、「入校生一人一人に合わせて説明の仕方や着眼点を変えるなど工夫しています。教えたことが改善されたときや、教習生の成長を見られるのが何よりうれしい」とやりがいを感じる表情を浮かべます。

「事故は命に関わることも。運転技術以外にも、感情的にならないなど事故を起こさない・もらわない方法を教えていきたい。運転を教える責任は重いけれど、そこも含めてやりがいです」

# ワーク vol.46

霧島市にはたくさんの企業があり、そこで多くの若者が生き生きと働いています。このコーナーでは、そんな企業や若者の暮らしを紹介します。第46回は、空港自動車学校の中小路佑さん(32)です。就職を控える生徒や学生の皆さん、ぜひ霧島市で働き・暮らすという未来を描いてみませんか。

取材協力企業 **空港自動車学校**  
 隼人町内2352-1 ☎0995(42)8583  
<http://kuko-ds.jp>

代表者: 水口 拓己  
 創業: 平成12年8月  
 資本金: 1,050万円  
 売上高: 2億3,800万円(令和2年11月期)  
 従業員数(男/女): 29人(23人/6人)  
 平均年齢: 46歳

有給休暇の平均取得日数: 7.5日/年  
 月平均残業時間: 20時間  
 育休取得者数(男/女): 対象者なし  
 初任給: 14万円  
 採用実績(新卒/それ以外): 2人(0人/2人、令和2年度)  
 勤務時間: 午前8時10分~午後5時10分(年間休日89日)

市ホームページでこのコーナーのバックナンバーを閲覧いただけます。